令和６年度　第１回伊勢市スポーツ推進審議会　会議録（概要）

１　日　時　　令和６年６月 27 日（木）19：00～20：30

２　場　所　　小俣総合支所３階　大研修室

３　出席者　　会　長　叶　　俊文　（学識経験者）
副会長　龍田　　洋　（伊勢市スポーツ協会）
委　員　川口　京子　（伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会）
山端　正人　（伊勢市スポーツ少年団）
奥田　　守　（伊勢市レクリエーション協会）
東　　一郎　（伊勢市小学校体育部会）
野村　和広　（伊勢市中学校体育連盟
谷水　楠仁　（伊勢市ＰＴＡ連合会）
橋本　さち子（総合型地域スポーツクラブ）
立花　和子　（健康づくり・スポーツ女性指導者）
平沼　美智子（健康づくり・スポーツ女性指導者）
豊島　久雄　（学識経験者）
事務局（伊勢市教育委員会事務局）
東浦　久修　（スポーツ課長）
長井　正文　（スポーツ課主幹兼スポーツ施設係長）
濱口　太史　（スポーツ課主幹兼スポーツ振興係長）

１　あいさつ

伊勢市教育委員会事務局　スポーツ課長　東浦　久修

２　委嘱状の交付

〇伊勢市小学校体育部会　会長　東　　一郎
〇伊勢市ＰＴＡ連合会　　代表　谷水　楠仁

３　協議事項

（１）第３期伊勢市スポーツ推進計画の令和５年度取組結果について

【会　長】

伊勢市の主催するスポーツ大会への参加人数が、令和５年度 5,029 人となっているが、その算出根拠は。

【事務局】

市民ふれあいスポカルウォーク、スポーツフェステイバル、ちびっこ超人選手権大会などを合算した数字である。

【会　長】
　以前、やすらぎ公園プールにおいて、17 時以降に大人のみの利用があったと記憶している。
　以前のように大人のみの利用があったら有難い。
【事務局】
　子どもたちの自由水泳がなくなってきて、やすらぎ公園プールの入園者は増えている。
　そのような中で、現在のプール運営で可能かどうか検討したい。

【委　員】
　主要なスポーツ施設の稼働率について、施設別、及び競技別の施設稼働率（利用率）を知りたい。
【事務局】
　施設別、及び競技別の施設稼働率（利用率）が提供できるか確認したい。

【委　員】
　学校体育館の利用について、平日の昼間であっても「この曜日は空いている」という日があれば借りたい。
【委　員】
　入場者の管理を徹底したうえで構造的に内部と外部が区切られるのであれば、平日昼間の貸し出しは可能かと思われるが、防犯面の観点から難しいと思われる。
【事務局】
　学校以外に地域にある公民館を借りていただくとともに、学校教育に支障なく利用できるか今後考えてみたい。

【委　員】
　小俣総合体育館の出入口の段差がなくなったことにより、車椅子での出入りがしやすく、利用者が非常に喜んでいる。
　みなと小学校体育館の窓の網戸が目詰まりをしていて風が入らないので、掃除をお願いしたい。
　また、同小学校体育館の外階段の足元灯りの点灯時間を延長してほしい。
【事務局】
　担当部署に伝えさせていただく。

（２）第３期伊勢市スポーツ推進計画の令和６年度実施計画について
【会　長】
　日本パラ陸上三重大会は観客が少なく、障がいのある方々は興味がなかったように思われる。
　今後、インクルーシブスポーツの普及に対して、どのように対策していくのか。

【事務局】
　大会事務局の方からは、地方で行われた大会としては、よく入ったと聞いているが、もっと多くの方に観戦してほしかった。
　今年度、スポーツ課主催のインクルーシブスポーツ事業において、伊勢志摩定住自立圏域の広域的な展開を試みる予定であり、この地域全体の啓発・普及に努めていきたい。

【会　長】
　スポーツ庁では「スポーツを行う権利は全ての人にある」と提唱しているが、多くの方にスポーツを体験していただくのが重要である。
　“スポーツ”という言葉が足枷になって、抵抗を感じる方が多くみえると思う。
　インクルーシブスポーツを広く知ってもらえるように「こんなことをして遊べますよ」というような柔らかい表現の方が集客できるのではないか。
【事務局】
　その通りであると思う。
　当課が主催するインクルーシブスポーツについては、令和４年度から重点事業として、様々な組織や団体等との連携や啓発活動を行った結果、障がいのある方を含め、参加者が増えてきているが、更に推進を図るうえで、表現方法も含めてどのように周知を図っていくかが課題であり、検討していきたい。
　総合型地域スポーツクラブの活動を例にあげると、スポーツが苦手な方も参加しやすいよう「(大学生の）お兄さん・お姉さんとのふれあい教室」や「外国人のみなさんとのふれあい教室」など“スポーツ”という言葉を出さない取り組みを行っている。

４　その他

【事務局】
　小俣町出身の西本拳太選手が、パリオリンピック・バドミントン男子シングルスの代表選手に正式に内定した。
　小俣図書館の２階ホールにてパブリックビューイングを予定。
　ただし、決勝トーナメントからテレビ放映される予定であるため、是非とも決勝トーナメントに進んでいただきたいと願っている。
　　競技日程：７月 27 日～８月５日

【副会長】
　中学校部活動の地域移行の進捗状況は。
【事務局】
　あまり進んでいないのが状況である。
　なお、県内で進んでいるのは四日市市である。

スポーツ課としては、受け皿となりうる総合型地域スポーツクラブ、及び市内中学校の部活動種目となっている伊勢市スポーツ協会の競技団体にアンケート調査を実施したので、その結果を皆様に提供したい。

参考として、いすずウキウキクラブでは、今年度、野球、サッカー、及びバドミントンについて中学生を対象にした教室を実施し、三重県スポーツ協会から県の補助金を頂きながらながら受け入れ態勢の充実を図っている。

【委　員】

中体連の方で何か情報はありますか。

【委　員】

中学校単体でチーム編成できない状況であり、それができない場合は合同チームを作り、試合に出場できる環境を作っている。

【委　員】

中体連に登録しているクラブチームはあるのか。

【委　員】

現在、陸上・柔道はクラブチームで登録している。

【委　員】

2027 年度以降、全国中学大会で９種目が取りやめになると報道発表があったが、県大会がなくなる種目があるのか。

【委　員】

中体連としてはこれから検討に入る。

以上